

令和6年度 児童発達支援自己評価（職員） まとめ

- ① 利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか
 - ・その日利用する子どもの人数を把握し、臨機応変に人数を工夫している。
 - ・勉強部屋（リハビリ）と保育室が別になっている。

- ② 職員の配置数は適切であるか
 - ・その日の職員や子どもの人数に合わせて配置してある。
 - ・介助に入る職員がいる。
 - ・全体を見て対応できている。

- ③ 生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっているか。また、障害の特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされているか
 - ・トイレカードをクラスに貼っていたり、1人1人にマークを使っている。

- ④ 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか
 - ・毎日の消毒、掃除の徹底をしている。また、危ない物は置かないよう工夫している。
 - ・朝・夕方と室内、園庭の掃除。玩具の消毒などを行い清潔を保てるようにしている。
 - ・定期的に換気を行い、給食やおやつ後は床を綺麗にしている。

- ⑤ 業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか
 - ・担任同士でその日にあったこと、支援方法などを話し合う。

- ⑥ 保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか
 - ・毎年行い、結果を職員会などで伝え、改善につなげている。

- ⑦ 事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか

- ⑧ 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか
 - ・つなげているとは思いますが、詳しく分からない。

- ⑨ 職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか
- ・園で勉強会やティーチャーズ・トレーニングを行ったり、外部の研修にも参加している。
 - ・毎年様々な研修の機会を設けている。
 - ・研修に参加し、報告・情報共有している。
- ⑩ アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか
- ・サービス等利用計画や相談支援事業所、保護者からの意見や要望等を把握し、一人ひとりに合わせた計画を作成している。
 - ・モニタリングを参考にしている。子どもひとりひとりに合わせ、担任間で話し合いをしている。
- ⑪ 子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか
- ・リハの中でも、ST・OT共有のアセスメントツールを検討中。他職員間で共有できたらと考えている。
- ⑫ 児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援（本人支援及び移行支援）」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で具体的な支援内容が設定されているか
- ⑬ 児童発達支援計画に沿った支援が行われているか
- ・子ども一人ひとりに合った声かけ、支援の統一に取り組み、工夫している。
 - ・計画に沿って支援を行っている。
- ⑭ 活動プログラムの立案をチームで行っているか
- ・各クラス担任で分け合い、考えている。
 - ・クラス職員と話し合いながら行っている。
- ⑮ 活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか
- ・子どもが楽しくできるものを考えながら立てている。
 - ・同じにならないよう、工夫している。
 - ・教材や玩具が偏らないよう、工夫している。

- ⑩ 子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成しているか
- ・クラスで話し合いを行い、子ども一人ひとりの特性を把握し、作成している。
 - ・モニタリングを参考にしている。
- ⑪ 支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか
- ・その日に行くべきことや、子ども自身のことを話し確認している。また、毎日朝礼を行っている。
 - ・毎日行えていないが、事前に知っておく必要なことや新しく分かったこと（情報）などは、その都度伝えて共有している。
- ⑫ 支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか
- ・反省や疑問に感じたこと、困ったことや分からないことはすぐに共有し、解決や改善へつなげている。
 - ・バス添乗などで話せないこともあるが、なるべく話すようにしている。
 - ・気になった点はすぐに話し合い、支援の統一を図るようにしている。
- ⑬ 日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか
- ・少しのことや気付いたこと（子どもに関して等）があった場合、日誌に書くよう徹底している。
 - ・休みの理由や、その他必要なことを必ず記録するようにしている。
 - ・連絡帳、日誌の記入を行っている。
- ⑭ 定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断しているか
- ・モニタリングを確認している。
- ⑮ 障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか
- ・担任が参加している。
- ⑯ 母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っているか
- ・赤ちゃん広場やこのゆびとまれ（ペアレント・トレーニング）

- ⑳ (医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っているか
- ・今は医療的ケア児はいないが、必ず行っていた。
 - ・対象児がいなかったため。
- ㉑ (医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 子どもの主治医や協力機関等と連絡体制を整えているか
- ・今は医療的ケア児はいないが、必ず行っていた。
 - ・対象児がいなかったため。
- ㉒ 移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか
- ・保育所側と、その子の様子や面談等を設け情報交換を行っている。
 - ・訪問などを行っている。
- ㉓ 移行支援として、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか
- ・年長児は、引き継ぎシートを記入し、情報共有できるようにしている。
- ㉔ 他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか
- ・児童通所サービス等連絡会があり、研修にも参加している。
 - ・研修に参加した際は、意見交換ができています。
- ㉕ 保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか
- ・地域交流交歓大会、園外活動(公園に行く等)
 - ・三池小学校との交流を行っている。
 - ・小学生や中高生、地域の方々との交流をしている。
- ㉖ (自立支援)協議会子ども部会や地域の子どもの子育て会議等へ積極的に参加しているか
- ・市役所、保育園訪問を行っている。
- ㉗ 日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか

- ・連絡帳や電話、口頭等でやりとりし、詳しくお伝えをするようにしている。
- ③① 保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）の支援を行っているか
 - ・ペアレント・トレーニングを行っている。
 - ・お手紙を配ったり、必要に応じて参加できるように促しを行っている。
- ③② 運営規定、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか
 - ・保護者に説明を必ず行っている。
 - ・契約書にて説明を行っている。
- ③③ 児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか
- ③④ 定期的に、保護者から子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか
 - ・面談や連絡帳などで相談があれば、アドバイスができるようにしている。
 - ・保護者からの相談があった場合は、園長に報告して対応している。
 - ・連絡帳で毎日やりとりをしている。
- ③⑤ 保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか
 - ・保護者同士で合う機会が設けてある。
 - ・保護者会
- ③⑥ 子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか
 - ・適切に対応している。
- ③⑦ 定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか
 - ・園だよりにて園の様子をお伝えしたり、ホームページも更新している。
- ③⑧ 個人情報の取り扱いに十分注意しているか
 - ・同意書を記入して頂き、間違い等に十分気を付けている。

- ・個人情報を外に持ち出さない。
- ③⑨ 障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか
- ・文章や連絡帳に詳しく丁寧に書くようにし、必要に応じて電話や直接話したりし、分かりやすくしている。
- ④⑩ 事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか
- ・クリスマス会や地域交流交歓大会、納涼祭。
 - ・サンキューバスの運営。
- ④⑪ 緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか
- ・毎月の勉強会にも取り入れて、話し合う時間を設けている。
 - ・連絡帳などで訓練があったことを伝えている。
 - ・避難訓練（地震や火災）や、不審者対応訓練も行っている。
 - ・委員会を設置している。
- ④⑫ 非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか
- ・毎月避難訓練を行っている。また、各クラスの担当を決めている。
- ④⑬ 事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等の子どもの状況を確認しているか
- ・園児家庭環境調査などの書類にて確認、把握をしている。
 - ・必要な子は坐薬などを預かっている。
- ④⑭ 食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか
- ・アレルギーの診断書を提出して頂いている。
 - ・医師の診断書をもとに、個人の指示書を作成し、担任の先生と連携し対応している。
- ④⑮ ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか
- ・どの職員も把握できるよう回覧し、また、目の届く所に保管していつでも見れるようにしている。
- ④⑯ 虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか
- ・研修会や委員会を設置している。
 - ・虐待防止委員会を中心に、研修会や勉強会を行っている。
 - ・定期的に研修を行っている。

④7 どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか

- ・勉強会で取り入れて話し合ったり、そのような場合での同意書を頂いている。また、個別支援計画書等にも記載し、日誌にも詳しく記入する。
- ・保護者には十分な説明をし、同意書を頂いている。
- ・現在は拘束を行ってはいないが、もし必要な場合には、マニュアルになっているため理解できている。